

# 事例報告シート

記入日：平成 年 月 日

<p>患者(顧客) 背景</p>	<p>性別(男・女) 年齢( 歳) 家族構成( 独居、同居家族; ) 介護保険( 無 ・ 有: ) その他特記事項:(食事・睡眠・運動 勤務形態他)</p>		
<p>現疾患 既往歴  相談があった 症状等</p>	<p>【高血圧・循環器病】 高血圧(診断 2005 年頃)  【その他内科関連疾患】 <input type="checkbox"/>脂質異常症 <input type="checkbox"/> 高尿酸血症 <input type="checkbox"/>糖尿病 <input type="checkbox"/>その他:</p>	<p>合併症  既往歴</p>	
<p>相談内容、 看護情報・診療情報・ 介護状況 からみた課 題</p>	<p>心臓超音波検査では何がわかるので しょうか？</p>	<p>生活習慣・ 環境に関わる 特記事項</p>	<p>喫煙あり。冠動脈疾患の リスクとなりうる</p>
<p>指導内容 (課題・計画)</p>	<p>高血圧による心臓の肥大の具合とともに心臓の動きを収縮力と拡張力の両方で調 べることができます。</p>		
<p>主なエピソード 【臨床経過と関わり】</p>	<p>(事例の経過と指導計画に対する遂行状況、新たな課題と取り組み など) 高血圧にて経過観察中。年一回の健康診断の心電図で異常を指摘されて心エコー を施行。同時に血液検査にて昨年に比してクレアチニンの上昇と尿蛋白+/-とな っている。喫煙有。心エコー施行時に検査の意義について説明。今後、尿は年に 数回、心電図、心エコーは年に一回程度のチェックが必要であることを説明。また 家庭血圧の測定の重要性について説明。外来主治医にエコーレポートを提出する 際に指導内容も記載した。</p>		
<p>他職との連携</p>			
<p>評価、考察 課題等</p>	<p>高血圧患者の臓器障害の進展についてどの程度の頻度で検査をすることがの ぞましいか、ESH/ISH のガイドラインなどを参考に指導した。また生理機能検査の みならず検体検査についてもデータを確認し、リスクの進行状況を臨床医に伝える ことで患者状態の把握の助けとした。また検査に対する患者の不安をとるよう、平 易な言葉で説明し、実際にエコーの動画を供覧させるなどの工夫をした。</p>		